

標準単価(東京地区)から積算単価への補正方法

補正式

標準単価は東京地区（東京 17 区）における基準年月（平成 24 年 9 月）の施工単位当たりの単価であることから、地域および時期の違いによる補正を行い、積算単価にします。
標準単価（P）から積算単価（P'）への補正は、各施工パッケージの機労材構成比を用い、下記の式により算出します。

$$P' = P \times \left\{ \left[\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t} + \dots + \frac{K3r}{100} \times \frac{K3t'}{K3t} \right] \times \frac{Kr}{K1r + \dots + K3r} + \left[\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} + \dots + \frac{R4r}{100} \times \frac{R4t'}{R4t} \right] \times \frac{Rr}{R1r + \dots + R4r} + \left[\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t} + \dots + \frac{Z4r}{100} \times \frac{Z4t'}{Z4t} \right] \times \frac{Zr}{Z1r + \dots + Z4r} + \frac{Sr}{100} \times \frac{St'}{St} + \frac{100 - Kr - Rr - Zr - Sr}{100} \right\}$$

P'	: 積算単価（積算地区、積算年月）	
P	: 標準単価（東京地区、基準年月）	→ 施工パッケージ型積算方式標準単価表
Kr	: 標準単価における全機械（K1～K3,他）の構成比合計	→ 施工パッケージ型積算方式標準単価表
K1r～K3r	: 標準単価における代表機械規格 K1～3 の構成比	→ 施工パッケージ型積算方式標準単価表
K1t～K3t	: 代表機械規格 K1～3 の単価（東京地区、基準年月）	→ 損料は平成 24 年度建設機械等損料表（一般社団法人 日本建設機械施工協会） 賃料は物価資料（平成 24 年 9 月）
K1t'～K3t'	: 代表機械規格 K1～3 の単価（積算地区、積算年月）	→ 損料は平成 25 年度建設機械等損料表（一般社団法人 日本建設機械施工協会） 賃料は物価資料等
Rr	: 標準単価における全労務（R1～R4,他）の構成比合計	→ 施工パッケージ型積算方式標準単価表
R1r～R4r	: 標準単価における代表労務規格 R1～4 の構成比	→ 施工パッケージ型積算方式標準単価表
R1t～R4t	: 代表労務規格 R1～4 の単価（東京地区、基準年月）	→ 三重県の公共事業情報 県土整備部積算基準（共通編）（河川編）（道路編）の制定について 公共工事労務単価 関東 13 東京都
R1t'～R4t'	: 代表労務規格 R1～4 の単価（積算地区、積算年月）	→ 設計単価表 第 2 章 労務単価
Zr	: 標準単価における全材料（Z1～Z4,他）の構成比合計	→ 施工パッケージ型積算方式標準単価表
Z1r～Z4r	: 標準単価における代表材料規格 Z1～4 の構成比	→ 施工パッケージ型積算方式標準単価表
Z1t～Z4t	: 代表材料規格 Z1～4 の単価（東京地区、基準年月）	→ 「代表材料の基準単価（東京地区）作成方法について」（平成 25 年 10 月制定分） 「施工パッケージ型積算方式 代表機労材規格一覧」（平成 25 年 10 月制定分） 「施工パッケージ型積算方式 基準材料・機械賃料単価（東京地区）」（平成 25 年 10 月制定分）
Z1t'～Z4t'	: 代表材料規格 Z1～4 の単価（積算地区、積算年月）	→ 設計単価表 第 1 章 3. 材料単価等の決定方法（土木工事編）に基づき決定
Sr	: 標準単価における市場単価 S の構成比	→ 施工パッケージ型積算方式標準単価表
St	: 市場単価 S の所与条件における単価（東京地区、基準年月）	→ 「施工パッケージ型積算方式 基準材料・機械賃料単価（東京地区）」（平成 25 年 10 月制定分）
St'	: 市場単価 S の所与条件における単価（積算地区、積算年月）	→ 設計単価表 市場単価編

標準単価から積算単価への補正方法は、地域及び時期の違いによる補正（下記①）に加え、下記②～⑤の補正が必要な場合があります。

- ① 地域及び時期の違いによる補正
- ② 条件区分に定めのない規格により積算する場合
- ③ 条件区分に実数入力を行い積算する場合
- ④ 時間外割増賃金補正等を行う場合
- ⑤ 支給品や無償貸付機械等がある場合

【計算例①】

①地域および時期の違いによる補正
 (施工パッケージ型積算基準の条件区分に基づき積算する場合)

- ・施工パッケージ名称：表層（車道・路肩部）
- ・条件区分：45～55mm、1.4m以上、密粒度As20、タックコートPK-4
- ・標準単価： 1,526 円

	規 格	構成比 (%)	東京(H24.9) (円)	三重(H25.10) (円)
K		3.51		
K 1	アスファルトフィニッシュ[ホイル型・排ガス対策型(第2次)]舗装幅2.4～6.0m	1.88	38,200	38,200
K 2	タイヤローラ[排ガス対策型(第1次)]8～20t	0.54	10,800	10,800
K 3	ロータリーローラ[マカダム・排ガス対策型(第1次)]質量10～12t	0.53	11,700	11,700
R		6.94		
R 1	普通作業員	2.39	14,000	14,900
R 2	特殊作業員	1.47	17,300	18,000
R 3	特殊運転手	1.44	17,100	17,500
R 4	土木一般世話役	0.53	19,100	19,900
Z		89.55		
Z 1	アスファルト混合物密粒度AS 混合物(20)	86.58	10,500	11,100
Z 2	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	2.49	88.7	87.0
Z 3	軽油1.2号 パトロール給油	0.41	106.5	117

$$\begin{aligned}
 P' \text{ (三重H25.7)} &= 1,526 \\
 &\times \left\{ \left[\frac{1.88}{100} \times \frac{38,200}{38,200} + \frac{0.54}{100} \times \frac{10,800}{10,800} + \frac{0.53}{100} \times \frac{11,700}{11,700} \right] \times \frac{3.51}{1.88 + 0.54 + 0.53} \right. \\
 &+ \left[\frac{2.39}{100} \times \frac{14,900}{14,000} + \frac{1.47}{100} \times \frac{18,000}{17,300} + \frac{1.44}{100} \times \frac{17,500}{17,100} + \frac{0.53}{100} \times \frac{19,900}{19,100} \right] \times \frac{6.94}{2.39 + 1.47 + 1.44 + 0.53} \\
 &+ \left[\frac{86.58}{100} \times \frac{11,100}{10,500} + \frac{2.49}{100} \times \frac{87.0}{88.7} + \frac{0.41}{100} \times \frac{117}{106.5} \right] \times \frac{89.55}{86.58 + 2.49 + 0.41} \\
 &+ \left. \frac{100 - 3.51 - 6.94 - 89.55}{100} \right\} = 1,606 \text{ 円}
 \end{aligned}$$

注：平成25年11月1日付けで東京地区単価の端数処理の考え方等について見直しましたのでお知らせします。（見直し部分：青字）

【計算例②】

②条件区分に定めのない規格により積算する場合

- ・施工パッケージ名称：表層（車道・路肩部）
- ・条件区分：45～55mm、1.4m以上、再生密粒度As20、タックコートPK-4
- ・標準単価：1,526 円

	規 格	構成比 (%)	東京(H24.9) (円)	三重(H25.10) (円)
K		3.51		
K 1	アスファルトフィニッシュ[ホイル型・排ガス対策型(第2次)]舗装幅2.4～6.0m	1.88	38,200	38,200
K 2	タイヤローラ[排ガス対策型(第1次)]8～20t	0.54	10,800	10,800
K 3	ロータローラ[マカダム・排ガス対策型(第1次)]質量10～12t	0.53	11,700	11,700
R		6.94		
R 1	普通作業員	2.39	14,000	14,900
R 2	特殊作業員	1.47	17,300	18,000
R 3	特殊運転手	1.44	17,100	17,500
R 4	土木一般世話役	0.53	19,100	19,900
Z		89.55		
Z 1	アスファルト混合物密粒度AS 混合物(20)	86.58	10,500	10,400 (再生密粒度As20)
Z 2	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	2.49	88.7	87.0
Z 3	軽油1.2号 パトロール給油	0.41	106.5	117

$$\begin{aligned}
 P' \text{ (三重H25.7)} &= 1,526 \\
 &\times \left\{ \left[\frac{1.88}{100} \times \frac{38,200}{38,200} + \frac{0.54}{100} \times \frac{10,800}{10,800} + \frac{0.53}{100} \times \frac{11,700}{11,700} \right] \times \frac{3.51}{1.88 + 0.54 + 0.53} \right. \\
 &+ \left[\frac{2.39}{100} \times \frac{14,900}{14,900} + \frac{1.47}{100} \times \frac{18,000}{18,000} + \frac{1.44}{100} \times \frac{17,500}{17,500} + \frac{0.53}{100} \times \frac{19,900}{19,900} \right] \times \frac{6.94}{2.39 + 1.47 + 1.44 + 0.53} \\
 &+ \left[\frac{86.58}{100} \times \frac{10,400}{10,500} + \frac{2.49}{100} \times \frac{87.0}{88.7} + \frac{0.41}{100} \times \frac{117}{106.5} \right] \times \frac{89.55}{86.58 + 2.49 + 0.41} \\
 &\left. + \frac{100 - 3.51 - 6.94 - 89.55}{100} \right\} = 1,518 \text{ 円}
 \end{aligned}$$

注：平成25年11月1日付けで東京地区単価の端数処理の考え方等について見直しましたのでお知らせします。（見直し部分：青字）

【計算例③】

③条件区分に実数入力を行い積算する場合

- ・施工パッケージ名称：安定処理
- ・条件区分：バックホウ、構造物基礎、1 mを超え2 m以下、7.00t/100m2
- ・標準単価：1,852 円

	規 格	構成比 (%)	東京(H24.9) (円)	三重(H25.10) (円)
K		10.39		
K 1	バックホウ[クローラ型・クレーン機能付]山積0.8m3 2.9t 吊	8.97	9,840	10,500
K 2	振動ローラ [ハンドガイト式]質量0.87~1.1t (*賃料)	1.42	1,560	1,560
R		49.28		
R 1	土木一般世話役	13.98	19,100	19,900
R 2	特殊作業員	12.62	17,300	18,000
R 3	特殊運転手	12.47	17,100	17,500
R 4	普通作業員	10.21	14,000	14,900
Z		40.33		
Z 1	固化材(5.25t/100m2)	34.17	63,000 (12,000×5.25t)	81,900 (11,700×7.00t)
Z 2	軽油1.2号	6.16	106.5	117

$$\begin{aligned}
 P' \text{ (三重H25.7)} &= 1,852 \\
 &\times \left\{ \left[\frac{8.97}{100} \times \frac{10,500}{9,840} + \frac{1.42}{100} \times \frac{1,560}{1,560} \right] \times \frac{10.39}{8.97 + 1.42} \right. \\
 &+ \left[\frac{13.98}{100} \times \frac{19,900}{19,100} + \frac{12.62}{100} \times \frac{18,000}{17,300} + \frac{12.47}{100} \times \frac{17,500}{17,100} + \frac{10.21}{100} \times \frac{14,900}{14,000} \right] \times \frac{49.28}{13.98 + 12.62 + 12.47 + 10.21} \\
 &+ \left[\frac{34.17}{100} \times \frac{81,900}{63,000} + \frac{6.16}{100} \times \frac{117.0}{106.5} \right] \times \frac{40.33}{34.17 + 6.16} \\
 &\left. + \frac{100 - 10.39 - 49.28 - 40.33}{100} \right\} = 2,102 \text{ 円}
 \end{aligned}$$

【計算例④】

④時間外割増賃金補正等を行う場合
(時間外割増賃金による補正の計算例)

- ・施工パッケージ名称：表層（車道・路肩部）
 - ・条件区分：45～55mm、1.4m以上、密粒度As20、タックコートPK-4
 - ・標準単価： 1,526 円
- 三重県における**労務費20%割増**の積算単価を算出

	規 格	構成比 (%)	東京(H24.9)(円)	三重(H25.10)(円)
K		3.51		
K 1	アスファルトフィニッシュ[ホイール型・排ガス対策型(第2次)]舗装幅2.4～6.0m	1.88	38,200	38,200
K 2	タイヤローラ[排ガス対策型(第1次)]8～20t	0.54	10,800	10,800
K 3	ロータローラ[マカダム・排ガス対策型(第1次)]質量10～12t	0.53	11,700	11,700
R		6.94		
R 1	普通作業員	2.39	14,000	17,880 (14,900×1.2)
R 2	特殊作業員	1.47	17,300	21,600 (18,000×1.2)
R 3	特殊運転手	1.44	17,100	21,000 (17,500×1.2)
R 4	土木一般世話役	0.53	19,100	23,880 (19,900×1.2)
Z		89.55		
Z 1	アスファルト混合物密粒度AS 混合物(20)	86.58	10,500	11,100
Z 2	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	2.49	88.7	87.0
Z 3	軽油1.2号 パトロール給油	0.41	106.5	117.0

P' (三重H25.10) = 1,526

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left[\frac{1.88}{100} \times \frac{38,200}{38,200} + \frac{0.54}{100} \times \frac{10,800}{10,800} + \frac{0.53}{100} \times \frac{11,700}{11,700} \right] \times \frac{3.51}{1.88 + 0.54 + 0.53} \right. \\
 & + \left[\frac{2.39}{100} \times \frac{17,880}{14,000} + \frac{1.47}{100} \times \frac{21,600}{17,300} + \frac{1.44}{100} \times \frac{21,000}{17,100} + \frac{0.53}{100} \times \frac{23,880}{19,100} \right] \times \frac{6.94}{2.39 + 1.47 + 1.44 + 0.53} \\
 & + \left[\frac{86.58}{100} \times \frac{11,100}{10,500} + \frac{2.49}{100} \times \frac{87.0}{88.7} + \frac{0.41}{100} \times \frac{117}{106.5} \right] \times \frac{89.55}{86.58 + 2.49 + 0.41} \\
 & \left. + \frac{100 - 3.51 - 6.94 - 89.55}{100} \right\} = 1,628 \text{ 円}
 \end{aligned}$$

注：平成25年11月1日付けで東京地区単価の端数処理の考え方等について見直しましたのでお知らせします。（見直し部分：青字）

【計算例⑤】

⑤支給品や無償貸付機械等がある場合
 (施工パッケージ型積算基準の条件区分に基づき積算する場合)

- ・施工パッケージ名称：表層（車道・路肩部）
- ・条件区分：45～55mm、1.4m以上、密粒度As20、タックコートPK-4
- ・標準単価：1,526 円
 アスファルト混合物が支給された場合

	規 格	構成比 (%)	東京(H24.9) (円)	三重(H25.10) (円)
K		3.51		
K 1	アスファルトフィニッシュ[ホイール型・排ガス対策型(第2次)]舗装幅2.4～6.0m	1.88	38,200	38,200
K 2	タイヤローラ[排ガス対策型(第1次)]8～20t	0.54	10,800	10,800
K 3	ロータリー[マカダム・排ガス対策型(第1次)]質量10～12t	0.53	11,700	11,700
R		6.94		
R 1	普通作業員	2.39	14,000	14,900
R 2	特殊作業員	1.47	17,300	18,000
R 3	特殊運転手	1.44	17,100	17,500
R 4	土木一般世話役	0.53	19,100	19,900
Z		89.55		
Z 1	アスファルト混合物密粒度AS 混合物(20)	86.58	10,500	11,100
Z 2	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	2.49	88.7	87.0
Z 3	軽油1.2号 パトロール給油	0.41	106.5	117.0

$$\begin{aligned}
 P' \text{ (三重H25.10)} &= 1,526 \\
 &\times \left\{ \left[\frac{1.88}{100} \times \frac{38,200}{38,200} + \frac{0.54}{100} \times \frac{10,800}{10,800} + \frac{0.53}{100} \times \frac{11,700}{11,700} \right] \times \frac{3.51}{1.88 + 0.54 + 0.53} \right. \\
 &+ \left[\frac{2.39}{100} \times \frac{14,900}{14,900} + \frac{1.47}{100} \times \frac{18,000}{17,300} + \frac{1.44}{100} \times \frac{17,500}{17,100} + \frac{0.53}{100} \times \frac{19,900}{19,100} \right] \times \frac{6.94}{2.39 + 1.47 + 1.44 + 0.53} \\
 &+ \left[\frac{86.58}{100} \times \frac{11,100}{10,500} + \frac{2.49}{100} \times \frac{87.0}{88.7} + \frac{0.41}{100} \times \frac{117.0}{106.5} \right] \times \frac{89.55}{86.58 + 2.49 + 0.41} \\
 &\left. + \frac{100 - 3.51 - 6.94 - 89.55}{100} \right\} = 1,606 \text{ 円}
 \end{aligned}$$

$$\text{支給品費} = 1526 \times \frac{86.58}{100} \times \frac{11,100}{10,500} = 1,396 \text{ (円/m}^2\text{)}$$

$$\text{積算単価} = 1,606 - 1,396 = 210 \text{ (円/m}^2\text{)}$$

注：平成25年11月1日付けで東京地区単価の端数処理の考え方等について見直しましたのでお知らせします。（見直し部分：青字）